出水中央高校新聞

発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
http://www.izumi.ac.jp
admin@izumi.ac.jp

校訓「協調」「規律」「勤労」

祝入学　「夢」実現に向けて

本日、第三十六回（平成十五年度）入学式を挙行できますことは、この上もない喜びであります。

新入生は、本校科を含めて三四一名です。新入生の皆さんの「夢」実現に向けての飛躍を期待します。

学問に王道なし

校長　松ケ野正弘

春爛漫の美しい花に彩られた佳き日に、平成十五年度の入学式を多数の御来賓の方々をお迎えし、厳粛かつ盛大に挙行できますことは、新入生はもちろん職員・生徒一同大きな喜びであります。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

保護者の皆様、今日までいろいろな面で御苦労を重ねてこられたお子様の御入学を心からお祝い申し上げます。

さて、本校は、昭和二十五年四月創立し昭和六十年四月に現在の出水中央高等学校と名称を改め出水地区唯一の私学の雄として現在に至っております。

本校の建学の精神は、「和の精神」で、その具現化のために、「協調」「規律」「勤労」の校訓を掲げて使命達成に向けて努力しています。

いよいよ今日から、新しい高校生活が始まります。

これからの高等学校三年間専攻科二年間、そして、看護学科五年間に何を学び、何を行うかの目標は、すでに皆さん一人一人の胸中にあると思います。その達成のために大いに頑張ってください。

さて、本校では、二十一世紀を生きる人材を育てるため豊かな人間性を育むとともに一人一人の個性を生かし、その能力を充分に伸ばす新しい時代の教育が求められておりその対応に努めています。

そこで、『学問に王道なし』という故事をお贈りします。

学問は順序を追い、系統だて積み重ねていくことによって修得できるものです。たとえ、一国の王とはいえ修得のための特別仕様の道（王道）など決してないということで、手軽に一足飛びに身に付ける方法などは有り得ないということです。その語源は、幾何学の大家として有名なギリシャの数学者エウクレイデスがエジプトの王をさとしていった言葉「幾何学に王道なし」が、後世「なにも幾何学に限ったことではあるまい」ということで「学問に王道なし」という表現に結晶したようです。このことを英語では「There is no royal road to learning」と呼んでいます。

二十一世紀を担う皆さんの夢の実現には、驚くほど短期間でみるみる学力がアップするような近道はないことを心に刻み、何事にも地味な努力を続けてください。

さて、高等学校の教育内容は、程度が高くなります。また、生活面での好奇心も旺盛となり理性を踏み外してしまう場合も考えられます。保護者の援助を必要とします。お子様の教育は学校・家庭・地域社会が手を相い携えて頑張ることこそ肝要です。積極的に御協力をいただきますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんには、皆さんの「夢」が光っています。その実現に向けて、大いに努力し、心身共にたくましく成長することを願っています。

顔に情熱の出る人へ

PTA会長　税所秀浩

新緑がまぶしく、小鳥のさえずりも楽しく聞こえる春の佳き日に御入学された皆さん、おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様の晴れ姿に心の底から喜びを感じていらっしゃる事と存じます。お子様の入学を心からお祝い申し上げます。

本校は、校長先生をはじめ諸先生方、諸先輩、保護者の皆様のお力で大変評判の良い学校です。ただ、今年の卒業生が卒業式の後、教室で思い出を語っていましたが、その中の一人が「出水中央高校に入りさえすれば願いがかなうと思っていたが、違った。自分自身が努力をしなければ願いどおりにはいかない」と言っていました。そのとおりだと思います。

夢のない人は夢を持ち、それを常に思い続けることで、「心構え」ができます。「心構え」のできる人は行動が変わります。先生方は「心構え」の充分でない人にはいろいろな角度から指導をされます。その指導は、皆さん一人一人が大人として一人前になるように成長してほしいという願いを込めて指導されるのです。

皆さんに一声掛けられるのに、たまには耳の痛いこともあるでしょうが、皆さんへの「想い」で指導されているのです。そのような時には素直に受け入れてください。

情熱のない人間は、人に注意もしなければ怒ることもありません。ただ無難な言葉や甘い言葉をかけることが多いのです。是非、君たちも一生懸命、自分の夢を追い続けてください。そういう人は必ず熱意や情熱のある人に出会えます。そして、君たち自身が「顔に情熱の出る人」へと変わっていきます。そんな貴方たちに出会えることを楽しみにしています。

この情熱溢れる先生方に囲まれた素晴らしい学校のPTA会長として会員の皆様と一体となって努力しています。

ここに、新しく会員となられた保護者の皆様、本校のPTA活動に積極的に御協力くださいますようお願い申し上げます。

初心を忘れずに

生徒会長　松藤弘教

特進課程二年
（高尾野中学校出身）

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。皆さんは今、高校生活のスタートラインに立つにあたって、期待と同様に不安も抱いていると思います。しかし、心配しないでください。本校の先輩は優しくて親切な人ばかりです。

さて、本校の生徒会は様々な学校行事を運営することが主な活動内容で、生徒一人一人がよりよい学校生活が送れるようにすることを目標としています。特に、生徒総会は、皆さんの要望を出し合い、改善の具体策を話し合うという重要な会です。また、各クラスがまとまって一つのものを作り上げていく文化祭や、若い力がぶつかり合うクラスマッチなど、主な行事が一学期に集中しています。これから夏にかけて生徒会も本格的に始動します。皆さんも、一つ一つの行事を精一杯楽しみ、他の科・クラスとの友好も深めていってください。

次に、本校には十八の部と四の同好会があります。昨年度輝かしい成績を残した部もありました。皆さんも是非、自分の興味のある部に入部し、活躍の場を広げてみてはどうでしょうか？

これから三年間の高校生活は、まさに「光陰矢のごとし」と言っても過言ではないほど、あっと言う間に過ぎ去ります。皆さん一人一人は目標を掲げていると思いますが、今日の、初心を忘れずに、一日一日を大切にして勉強にスポーツに励んでください。今日から私達と共に、新たな生徒会を築いていきましょう。

学園百景⑤　門柱

本校の正門の門柱は、縦一・九m、横六・二mのタイル張りの台座にはめ込まれた赤御影石に「出水中央高等学校」と一文字約四十cmで横に刻まれています。

平成九年三月に建立されたもので、本校書道科の波留淳一教諭の力強い隷書で刻まれています。

毎日、生徒・職員は必ず見ますが、教養課程二年坂口美佳さんは「横書きの大きな力強い文字に勇気づけられます。本校の誇りの一つです」と言っています。

紫屋抄

今年も桜の季節が、めぐってきました。

葉桜になり始める頃には学校は新入生を迎え入れることになります。この時期、新入生の力のこもった眼差しに接すると教職に就く者の責任の自覚を促されているような思いになります▼今、花見の宴がいたる所で催されていますが、日本人の桜愛は大和の丘陵に咲く山桜をめでた奈良朝の貴族たちから始まったもので、当時は、都の栄えを讃えるめでたいしるしとして、また、新しい生命を誕生させる女の人の美のきわみとして観られていたといわれています。〈桜と日本人〉小川和佑）▼それ以来、桜は日本人を魅了し続けてきました。桜の最も美しく見える時間として古人は「朝ぼらけ」と「夕まぐれ」をあげています。夜と昼のあわいの薄明のなかに甘くうきあがって見える桜の姿はまことに美しいものです▼私たちが桜と聞いてまず思い浮かべるのはソメイヨシノですが、江戸時代の終わり近くまでは、山野に自生する山桜の類であったそうです。花付きが多く華麗に咲くソメイヨシノはいうまでもなく美しいが、緑の山の所々に、人知れずひそやかに咲いている山桜も寂しさの中に気品が感じられてそれに劣らず美しさを感じます▼昨今、グローバル化の進展とともに、情報発信能力の養成が唱えられるようになり、学校教育においても「論理的に意見を述べたり、目的や場面に応じて適切に表現する」こと等が重要視されるようになりました。しかし、ややもすると声高な威勢のいい主張のみまかり通っている風潮もあるように思われます。「人は本当に大切なことは、ぼそぼそと語るものだ」と言った人もいます▼新入生の皆さんには、山桜のひっそりと咲く姿に美を感じる心とともに、私たちが生きるそれぞれの場で、小さい声の中にある真実にも心を留める「社会的感性」も育んでほしいものです。

（山上森資）

充実した高校生活を

進学・就職・各種の資格取得など

新入生の皆さん、新しい制服に身を包み、高校生活への期待で一杯のことと思います。本校の教育内容などを早く理解してほしいために、本校の特色の一部を紹介します。

一　単位修得の条件

単位修得の条件は、原則として次のとおりです。

①　出席日数が出席しなければならない日数の三分の二以上であること。

②　授業を欠席（欠課）した数が法定授業時数の三分の一を越えないこと。

③　成績は年間を平均した点数が三十点以上あることとなっています。

提出物や授業態度、欠席理由などを総合的に判定します。

学校薬剤師の田中病院さん

一年生では一単位でも未修得があれば進級できません。

二　奨学資金制度の充実

経済的不安がないように、希望者には、育英奨学金や病院奨学金制度も採用しています。病院奨学金制度は、看護学科とその専攻科、医療福祉科が対象になります。現在では、関東・中京・関西など看護学科に二十四病院、医療福祉科に十四病院から指定していただいています。

三　卒業後の進路

本校の設置学科から、難関大学をはじめ、専門学校への進学、就職、訪問介護員一級の資格が取得ができます。そして、介護福祉士、准看護師、看護師等の受験資格が得られます。

四　各学科・課程の研修旅行

本校では、研修旅行を計画し、本科生は二年生、専攻科は一年生で実施しています。十四年度は、普通課程と医療福祉科、衛生看護科は関西方面へ、教養課程はアメリカ合衆国のサンタモニカ一帯で二週間のホームスティ（平成十五年度はオーストラリアで行います）、特進課程は九州大学など大学キャンパス巡りを行いました。専攻科はハワイ研修を満喫しました。

五　学校賞等の表彰

卒業・修了の時、在学中の努力を評価して表彰を行っています。今年三月には、学校賞、知事賞、皆勤賞、精勤賞など十一種に延べ六十九名の表彰を行いました。

六　エアコンで快適な環境

本校では、各教室や実習室等にエアコンを設置しています。年中快適な中での学習ができるようにしています。

高校生らしい行動を

携帯電話・髪染・ピアス禁止など

新入生の皆さん、春の訪れと同じように明るく希望に満ち溢れていることでしょう。学校は、皆さんが、心身共に健全で問題行動や校則違反のない毎日を送ってほしいと願っています。

一　携帯電話の禁止

本校では、携帯電話の所持・使用は学校や寮、登下校中でも禁止しています。次のような問題点があるからです。

①　授業中、携帯電話の着信音が鳴り授業妨害となる状況があります。

②　授業中、メールに夢中になり、授業を全然聞いていないことがあります。

③　携帯電話で連絡を取り夜間に寮等を抜け出し、不純異性交遊をすることが考えられます。

④　出会系サイトで異性を知り不純異性交遊をすることが考えられます。

⑤　携帯電話の通話料金の確保のため無断でアルバイトをしていることが報告されています。

発覚した場合は、保護者（場合によっては保証人も）に来校していただきます。どうぞ、御理解の上御協力くださるようお願いします。

二　正しい服装容儀

本校では、服装・容儀の正しい姿の指導に力を注いでいます。正しい姿は、生徒手帳に示してあります。なお、身体的な都合で異装をする場合は学級担任へ申し出てください。検討して許可します。

三　髪染やピアス装着の禁止

特に、髪染やピアス装着、短いスカート丈、シャツの外出しなど服装の違反者には厳しく指導します。高校生としての身だしなみは、学ぶ姿勢を表わしています。

四　無断アルバイトの禁止

五　保護者・保証人との協力

違反者には、全職員が気付いた場で注意します。注意に従い、すぐ正してください。指導に従わない時は、保護者・保証人にも来校していただくなど一緒に指導します。

六　校則制定の意義

高校生の飲酒、喫煙、不純異性交遊など問題行動は自分自身を悲しませることになるということに気付くべきです。服装・容儀の乱れも問題行動に結び付く度合いが高いので、学校では非行を未然に防ぎ、団体生活を快適に行うために校則を定めています。

歓迎メッセージ

ようこそ出水中央高校へ

私は二年前、介護福祉士の夢を持ち希望を胸にこの学校に入学しました。入学した頃は、専門教科の多さと内容の難しさに、不安の気持ちで一杯になりました。しかし、不安は少しずつですが、自信へと変わりつつあります。

一年間では専門の基礎知識や技術を学び、二年になると施設や在宅での実習に行くことで、学校の授業では学ぶこともできないことも、体験しました。三年になると実習の日数が増え、介護福祉士の国家試験も待ち構えています。この一年、今までの努力を無駄にせず、悔いの残らないよう過ごしたいと思います。

医療福祉科３年
竹下美紀
（水俣第一中出身）

新入生の皆さん、同じ目標を持つ仲間と一緒に、頑張りましょう。

私が白衣の天使を夢見てこの学校に入学し、戴帽式で憧れのナースキャップを戴いた時は、感動と喜びを味わい、看護の道を選んで良かったと改めて実感しました。その後の臨床実習では教科書では学ぶことができない看護、病んでいる患者様への接し方などを学びました。

二年間を振り返り、私が身にしみて感じていることは努力した人にはかなわないということです。自分の夢を実現するためには、自分なりに計画を立てて着実な努力をし、実行することが大切です。

衛生看護科３年
細谷　恵
（阿久根中出身）

新入生の皆さん、立派な看護師になるという夢に向かって努力することを惜しまず、同じ夢を持つ仲間を大切にして花を咲かせましょう！！

真新しい制服に身を包み、今、将来の夢に向けての希望で胸が一杯のことでしょう。

専攻科では、今までとは違い、専門教科の高度な知識・技術・態度を学習するために、毎日学習していくことが大切となります。大変なことですが、今まで知らなかったことが分かる楽しさや、より深く疾患について学習していく上で見えてくる患者様の個別的な看護が理解できます。先生方をはじめ、病院の医師による講義で、より高度な知識を習得していくことができます。

専攻科２年
馬場郁子
（津奈木中出身）

新入生のみなさん、私達は同じ看護師という夢を持った仲間です。その夢を実現させるために、一日一日を大切にして仲間を支え合いながら楽しい学校生活を送りましょう。

普通課程３年
石川彰彦
（高尾野中出身）

御入学おめでとうございます。今、私が在籍している普通課程は、ほかの課程より専門的なことを勉強するわけではないのですが、部活動や学業を両立するには最適で本人次第で色々な可能性への道が無限に広がる素晴らしい課程です。

私は普通課程で、今部活動と学業を両立して頑張っています。両立することが出来るのも日頃からの先生方の厳しい御指導があるからです。この恵まれた環境で部活動や学業に集中できる私はとても幸せだと思います。

新入生の皆さんも、この恵まれた環境で心身を向上させ、個性を伸ばし、三年間悔いが残らないように頑張ってください。

教養課程３年
桑永美由紀
（大口南中出身）

私が学ぶ教養課程は、英語教育に力を入れているのはもちろん、少人数で編成されたクラスなので、先生方の熱心な指導を受けることができ勉強面でも大変充実しています。

授業の内容は、中学校の時よりも難しくなり、進み方も速く大変に感じることもあると思いますが、自分の目標に向かって頑張ってください。困ったらいつでも先輩に声をかけてください。

また、中学生の時と違っていろいろな広い地域から来ていますので、今までに出会ったことのないような友達とも出会うことができ、自分の視野も広がると思います。

皆さんも多くの友達を作って、目標に向かって頑張ってください。

特進課程３年
塩崎佳乃
（水俣第一中出身）

御入学おめでとうございます。これからの高校生活に色々な思いを抱いていらっしゃると思います。高校は中学校より授業内容が難しく、進度も速くなります。部活と両立していくのは大変ですが、部活動に入って活躍している人もいます。

特進館にはスタディールームや通信衛星授業などの設備があり、また、先生方の御指導も行き届いているので集中して勉強に取り組むことができます。二年生で実施される研修旅行では大学を訪問し、大学の中身を多く知ることができます。私もいよいよ受験生となりますが、皆さんには日一日を大切にしてほしいと思います。自分の目標が達成できるよう、頑張りましょう。

新入生を待つ　部活動

本校には、左記の十八部と四同好会があります。昨年度から強化部にサッカー部と柔道部を指定しましたので従来の陸上部と野球部を加えた四部が強化部です。

強化以外の部も意欲的に活動しており、好結果を残しています。吹奏楽部は定期演奏会の開催を目指して頑張っています。

部活動総責任者の前田一閣君（柔道部主将）は「新入生の皆さんの貴重な戦力を大変楽しみに待っています。各部・同好会に飛躍させたいのです。高校時代の一ページに部活動の楽しみを加えてください」と述べています。

部活動名	顧問
陸上部	石川　紘也　（０３）
野球部	野末　隆介　（０３）
弓道部	長谷　俊子　（０２）
ソフトボール部	塩下　信の　（０２）
バスケットボール部（男）	小原　将貴　（０２）
バスケットボール部（女）	牧野　亮　（０３）
柔道部	前田　一閣　（０３）
剣道部	西村　健　（０３）
バレーボール部	長嶋　英代　（０３）
野球部	松田　信士　（３２）
陸上部	寿屋　達介　（３２）
ソフトテニス男女	一瀬　一　（３２）
サッカー部	西ノ園　忠幸　（３２）
吹奏楽部	小原　裕　（０３）
中央祭実行委員会	清水　隆子　（０３）
生徒会	牧野　敏　（０３）
生徒会	牧本　豊美　（０３）
生徒会	久保　角　（０３）
生徒会	吹屋　麻美　（０３）
生徒会	ダンス部　（０３）
生徒会	前田　志保里　（３２）
生徒会	浅崎　幸央美　（０３）
生徒会	本田　敏　（０３）
生徒会	黒下　敏也　（０２）

委員会	顧問
生徒会	G　・　吉満　秀信
生徒会	L　・　牧　俊英
生徒会	P　・　仲　清美
生徒会	S　・　田　伸博
生徒会	図書　・　井筒　雅子
生徒会	N　・　前田　一閣

Welcome

ノルウェーからコンニチハ　第十五回留学生

クヌート・ヘステン
Knut Hesten君

自宅の上空にオーロラが見える北欧からクヌート・ヘステン（十七歳）君が、桜の咲き始めた出水に三月二十二日、到着しました。

クヌート君は、パソコンを得意とし、雪上ムーブメントを好んでいます。「自国文化から隔たった日本文化にも学び視野を広めたい」と話しています。

ホームステイは、出水市向江町の吉井博様宅です。教養課程二年生として来年一月まで学びます。

手話

手話講習会初級修了式

三月十八日、教養課程会議室で講師の香月一明・花田知津子両先生の御臨席のもと平成十四年度の鹿児島県聴覚障害者協会主催の手話講習会初級講座（本校会場）の修了式を行いました。

式は、顧問の山田かずこ先生の司会で進められ、学校長から七名の修了生にそれぞれ修了証書が授与されました。その後、学校長は「六月四日、開講式を行い年間に四十二回の講習会でした。講師の先生方の御尽力はもとより、お互いの励ましも大きかったと思います」と式辞を述べられました。

全員がそれぞれ手話で講師の先生へ謝辞を述べました。荒川小百合さんは「私が手話を習って一番心に残っている先生の言葉が『手話は聴こえない人の言葉なんだから一緒にしよう』と一連した手話で表現しました。

修了者は、左記の七名で全員医療福祉科新二年生です。

荒川小百合、井嶋由衣、梅川さゆり、園田幸、早川陽子、平野愛美、福田梓、以上七名